

報告案件：医療的ケア児保育受入れに関する検討部会について

<名称>八尾市障害児保育審議会 医療的ケア児保育受入検討部会

<日時>令和6年12月12日（木）午後2時00分開会

<場所>八尾市青少年センター4階会議室1・2

<設置目的>

ガイドライン策定後の運用確認として、令和5年度のモデル実施等で浮かびあがってきた課題をもとに、専門部会の委員からのご意見を頂きながらネットワーク構築などの運用改善に向けた検討を行い、保育受入れ体制の強化に繋げていく。

<部会委員構成>

●は臨時委員、■は保育受入れ施設

	氏 名		所属等
	青木 信江		健康福祉部保健予防課 課長補佐
部会長	宇野 里砂		武庫川女子大学教育学部教育学科 教授
	加藤 賢一	●	美園くじらこども園 園長
	工藤 弥春	●	こども若者部こども健康課 係長
	佐々野 まほ	●	トレジャーキッズながはた保育園 園長
	高松 真美	●	八尾市立南山本せせらぎこども園 園長
副部会長	竹川 英子		八尾市私立幼稚園協会 (認定こども園竹渕幼稚園 園長)
	西川 千智		八尾市立児童発達支援第1センター 所長
	藤井 裕美	●	八尾市立安中ひかりこども園 園長
	前背戸 公明	●	八尾市立児童発達支援第1センター 管理医師
	ムジカ 由加里	●	八尾私立保育連盟 (みゆきこども学院 園長)
	山口 久美子	●	こども若者部 参事(こども施設運営課)
	吉田 智美	●	健康福祉部障がい福祉課 係長

<議事内容>

◎報告案件

①医療的ケア児の保育受入れの現状について

- ・八尾市での医療的ケア児保育受入れの現状報告

②保育受入れ施設の看護師交流会について（ネットワーク構築の一環）

<内容>

- （１）各施設にて受け入れている医療的ケア児についての情報共有
- （２）保育を進めていくうえでの思いや課題について共有及び意見交換

<意見要旨>

- ・同じ立場の看護師が園の垣根を越えて意見交換や情報交換が出来たので有意義であった。
- ・保育教諭との連携やイベント、仕事のやりがいなど意見交換が出来た。

③受入れ園からの報告

<医療的ケア児保育受入れにかかる対応事例報告（保育受入４施設から報告）>

◎意見交換

テーマ：在園中の児童に医療的ケアが必要となった場合の対応について

<出された意見>

- ・保育・こども園課と連絡を取り合いながら、医療的ケアとしての受入れがスムーズに進んでいる
- ・今後、医療的ケア児の入園についての相談や在園児で医療的ケアが必要になる可能性がある旨の相談があった場合にはまず市に相談し、こういった手立てをとれば良いかを一緒に検討を行う
- ・このような会議の場や普段の相談の場等を介して各委員あるいは関係者で顔を見合わせながら種々相談し子どもと保護者を支えていくという体制づくりを行う

<その他保育受入れ体制の強化について出された意見>

- ・医療的ケア児の保育受入れの経験が事例のケースでもスムーズな対応へと導く
- ・安全に保育受入れしていくための体制づくりが重要である
- ・対応できる看護師の確保が重要である
- ・園全体の看護師も医療的ケア児対応の看護師も確保が難しい
- ・派遣会社依頼時の看護師採用までのコストが高い（保育士も同様）
- ・受入れ園や担当する看護師の医療的なアフターフォローが必要である
- ・保育教諭と看護師の日々のコミュニケーションが大切である